

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

事業区分	重点
------	----

事業名	放置自転車対策（駐輪場の整備・街頭指導・撤去）		
所管課	道路下水道局管理部自転車課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	—		急速な都市化を背景に、全国的に放置自転車が社会問題化し、昭和55年に「自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律」が制定され、放置自転車対策が始まった。
根拠法令	自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律		本市においても、昭和60年に「福岡市自転車の放置防止に関する条例」を制定し、自転車対策の本格的な取組みを開始。平成13年、平成15年の内閣府放置自転車実態調査において、天神地区がワースト1位となったことをうけて、積極的に自転車駐車場の整備や放置対策を行ってきた。
行政計画	福岡市自転車利用総合計画		

基本計画			
施策コード	主	3-4-1	施策成果指標
	再		
分野別目標	安全・安心で良好な生活環境が確保されている		
施策	ルールが守られ、人にやさしい安全なまちづくり		
事業群	安全で適正な自転車利用		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	自転車利用者
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	自転車利用者が駐輪場を利用することで道路利用者の安全で快適な道路空間の確保及び都市景観向上につながることを認識し、自転車を放置しない状態。

実施内容(手段)	令和元年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	R1年度実績 ・駐輪場の整備：博多駅筑紫口自転車駐車場の新設(R1.9月供用開始) 六本松駅自転車駐車場の増設(R1.6月供用開始) ・モラルマナーの啓発：街頭指導員述べ：30,207人 ・放置自転車の撤去台数：23,405台

事業費(千円)		
令和元年度決算額(見込額)		
	歳出合計	1,800,380
歳入	特定財源	928,288
	一般財源	872,092
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H30 R2
	歳出合計	1,888,617 1,744,712
歳入	特定財源	992,152 1,045,702
	一般財源	896,465 699,010

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか) ・使いやすい駐輪場の整備 ・街頭指導等によるモラルマナー啓発 ・放置自転車の撤去	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか) 自転車利用者が駐輪場を利用する。	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか) 自転車利用者が自転車を放置しなくなる。	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか) 道路利用者の安全で快適な通行空間が確保され、また、都市景観が向上する。
	▶	▶	▶	
	▶	▶	▶	

活動の指標	指標の内容	年度	実績		目標	
			H30年度	R1年度	R2年度	最終年度
市営駐輪場の整備台数 (次年度の4/1の値)	目標		-	-		R 年度
	実績		51,707	51,319	-	-
	達成率		-	-		-
市営有料駐輪場の利用者数 (1日平均利用者数)	目標		-	-		R 年度
	実績		38,203	37,024	-	-
	達成率		-	-		-

成果の指標(KPI)	指標の内容	年度	実績		目標	
			H30年度	R1年度	R2年度	最終年度
放置率(%)	目標		2.5	2.5	現状維持	R 年度
	実績		2.0	1.7	(2.5程度)	-
	達成率		125.0%	147.1%		-
	目標					R 年度
	実績					
	達成率					